

守監発第 6 号
令和元年8月16日

守谷市長 松丸修久様

守谷市監査委員 高瀬尚則 

守谷市監査委員 川名敏子 

平成30年度守谷市各会計決算及び各基金運用状況審査意見書の
提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成30年度における守谷市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算、並びに、同法第241条第5項の規定により審査に付された各基金の運用状況について審査したので、次のとおり審査意見書を提出する。

平成30年度守谷市各会計決算及び各基金運用状況審査意見書

1 審査の対象

守谷市一般会計歳入歳出決算
守谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
守谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
守谷市介護保険特別会計歳入歳出決算
守谷市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算
守谷市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
各基金の運用状況を示す書類

2 審査の期間

令和元年7月29日から令和元年8月16日まで

3 審査の方法

守谷市各会計歳入歳出決算書，同事項別明細書，実質収支に関する調書及び財産に関する調書について，関係法令に準拠して作成され，これらの計数の正確性とその会計処理が適正に行われているかを関係書類と照合するとともに，関係職員から説明を聴取し，定期監査，例月現金出納検査等の結果を参考として，収入支出事務の適法性，的確性の確認を行い，予算が適正かつ効率的に執行されたかを審査した。

また，各基金の運用状況を示す書類について，その計数の正確性を検証するため，関係帳簿等との照合その他通常実施すべき審査を実施したほか，基金の運用状況の妥当性を検証するため，関係書類を審査した。

4 審査の結果

審査に付された守谷市一般会計歳入歳出決算書，守谷市各特別会計歳入歳出決算書，同事項別明細書，実質収支に関する調書及び財産に関する調書は，関係法令に準拠して調製されており，その計数は，関係諸帳簿その他証書類と照合した結果，予算の執行に関連する事務の処理は適正かつ効率的に執行されていると認められた。

また，各基金の運用状況を示す書類の計数についても関係諸帳簿，証拠書類と符合しており，基金の運用状況は妥当であると認められた。

5 審査の意見（各会計の状況）

【一般会計】

前年度と比較して、歳入では7,778万2,720円、率にして0.3%の減、歳出では3億3,963万9,039円、率にして1.6%の増となった。

歳入が減額となった主な理由として、市内大手企業の法人市民税が大幅に減額となったことや、地方交付税において普通交付税が不交付となり、特別交付税も減額となったことが挙げられる。

なお、歳入における財源の構成比は、自主財源が73.2%（前年度：74.4%）依存税源が26.8%（前年度：25.6%）という状況である。

一方で、歳出が増額となった主な理由は、御所ヶ丘小学校校舎を始めとする学校教育施設や中央公民館の改修工事に関する費用が要因といえる。

なお、歳出における目的別の構成比において増減が目立つものは、教育費の前年度12.4%に対して15.1%、総務費が前年度15.9%に対して14.1%となっている。

次に、特別会計を合わせた普通会計における財政分析指標を見ると、財政力指数（単年度）は1.007（前年度：0.995）、経常収支比率は83.2%（前年度：84.3%）、公債費負担比率は4.0%（前年度：4.9%）となっている。

【国民健康保険特別会計】

前年度と比較して、歳入では6億3,116万9千円、率にして9.8%の減、歳出においても2億6,709万7千円、率にして4.9%の減となった。

これは被保険者数（国保加入者）が前年度と比較して減少し（-613人、-4.9%）、それに伴い保険給付費も減額していることが要因である。

前々年度から引き続き一般会計からの法定外繰入も行われず、国民健康保険支払準備基金の取り崩しもない。

【後期高齢者医療特別会計】

31年3月末の被保険者数は6,087人（30年3月末：5,640人）で、人口に占める割合は9.0%（30年3月末：8.4%）となっている。

歳入決算額は5億6,855万4,754円で、前年度と比較して4,891万5,057円（9.4%）の増額となった（29年度と28年度の比較：4,489万828円の増額、9.5%の増）。

歳出決算額は5億6,567万62円で、前年度と比較して4,822万1,113円（9.3%）の増額となった（29年度と28年度の比較：4,532万6,137円の増額、9.6%の増）。

【介護保険特別会計】

歳入決算額は33億298万1,918円で、前年度と比較して1億310万3,837千円(-3.0%)の減額となった(29年度と28年度の比較:3,771万4,527円の増額,1.1%の増)。

歳出決算額は32億3,690万9,420円で、前年度と比較して8,884万6,639円(-2.7%)の減額となった(29年度と28年度の比較:1億9,579万7,456円の増額,6.3%の増)。

歳出における保険給付費は29億2,537万3,339円で、歳出総額の90.4%を占めている(29年度:28億3,496万3,964円(歳出総額の85.2%),28年度:27億379万7,889円(歳出総額の86.4%))

守谷市の65歳以上人口(高齢化率)は、各年4月1日現在、29年が20.8%、30年が21.6%、31年が22.2%である(31年:茨城県29.2%、全国28.3%)。

また、守谷市の要介護認定率は、31年4月1日現在で11.78%となっている(29年4月1日:11.47%、30年4月1日:11.48%、29年10月:茨城県15.0%、全国18.1%)。

茨城県や全国と比較して、守谷市は高齢化率並びに要介護認定率とも低い水準となっているが増加傾向にはある。

【介護サービス事業特別会計】

歳入決算額は1,642万700円で、前年度と比較して135万1,322円(7.8%)の増額となった(29年度と28年度の比較:121万6,266円の増額,8.8%の増)。

歳出決算額は1,316万3,476円で、前年度と比較して180万4,750円(-12.1%)の減額となった(29年度と28年度の比較:221万8,977円の増額,17.4%の増)。

ケアプラン作成数は1,780件である(29年度:1,716件)。

【農業集落排水事業特別会計】

歳入決算額は4,396万373円で、前年度と比較して47万8,626円(-1.1%)の減額となった(29年度と28年度の比較:742万9,131円の増額,20.1%の増)。

歳出決算額は4,042万6,042円で、前年度比較して139万8,042円(-3.3%)の減額となった(29年度と28年度との比較:921万2,801円の増額,28.3%の増)。

年度末における施設の使用戸数は191戸である(29年度:187戸,28年度:184戸)。

【基金運用状況】

各種基金についての運用は適正に管理されている。